

第 64 回 GAORA 番組審議会記録(2019 年 3 月開催)

第 64 回番組審議会が 3 月 8 日(金)に開かれました。審議会には、種子田委員長をはじめ 6 名の委員が出席。会社からは、5 名が出席しました。この日は、12 月に放送しました「V っと V リーグ！」について審議を行い、委員の皆様から次のようなご意見をいただきました。

<審議番組> 「V っと V リーグ！」#3 女子 レギュラーラウンドハイライト②

放送日時:12 月 23 日(日)16:00~16:30

<番組概要> 「V っと V リーグ！」は V リーグのハイライト番組です。去年は 1 レグごとに制作しましたが、今季は男女でレグのスケジュールが異なるため、“月刊版”としての制作となりました。各試合のダイジェスト映像を使い、できるだけ多くの試合をまんべんなく振り返っています。その一方で GAORA での解説としてもおなじみである元全日本・佐々木太一氏が、好プレーを選手目線で細かく分析するコーナーを設けている他、リーグの“今の状況”をしっかりと把握し、GAORA での生中継を視聴する前に、ここまでの戦いを“復習できる”番組としています。

さらに GAORA では生中継できないファイナルシリーズについても、この番組を通じてハイライト映像を見ることが出来、GAORA SPORTS 視聴者のバレーボール離れを防止する目的も持っています。

<審議意見> 委員の主な意見は次の通り。

■番組を見ていて長めのスポーツニュースを見ているように感じた。番組を進行するベテランの馬野アナウンサーと、落ち着いたある佐々木太一氏のコンビは、見ていて安心感があった。岡山シーガルズの山口選手が通算出場セット数記録「1304 セット」となる場面があったが、肝心の山口選手の音声コメントがカットされていて残念だった。

■番組後半の『太一のピカイチ』が楽しかった。このコーナーがあるかないかで番組全体がより興味深いものになった。日曜日の夕方放送ということで、バレーボールが好きな方にとってもサラッと見やすく、試合内容を確認できる、良い意味で無難な番組だと感じた。1 試合辺りにかける尺も短すぎず長すぎずで、効率的に短い時間で 1 ヶ月の動きがわかる、良くまとまった番組と感じた。

- さらっと見て、印象に残らない番組。バレーボールのコアなファンが、試合を一気にまとめて見るための番組と感じた。バレーボールのルールもよく分からなかった。北海道日本ハムファイターズの岩本氏のような、エンターテインメント性のあるコメンテーターにすれば面白くなるのではないか。もっと工夫してもらいたい。

- バレーボールを昔は見ていたが、今は見ていない。番組中で紹介されたウエストリーグ、イーストリーグ、レギュラーシーズン、交流戦など、よく分からなかったので、もう少し説明がほしかった。また、各チームの看板選手を紹介してほしかった。

- 30分間に19試合を見せるのは無理がある。この番組を一体誰に見せたいのか？得点を決めた後にコートを走り回る映像が多く、単調に感じた。各チームの順位が聞き取りにくかった。

- バレーボールの躍動感やダイナミックさが、番組の中で伝えきれておらず、残念に感じた。試合映像がコート全体を映した引きの映像ばかりで、もっと接近した映像を使用してほしかった。

- 全体を通してメリハリがなく、バレーボールの試合結果を淡々と伝えるだけで、面白味がなかった。良いプレーが出たのであれば、そのプレーを見せてほしかった。日本バレーボールリーグ機構と共に、番組を改善してほしい。

[出席委員]

種子田穰委員長、影山貴彦副委員長、黒田勇委員、藤井純一委員、森本志磨子委員、磯部亨委員

[GAORA出席者]

東社長、二瓶コンテンツセンター長、赤岩制作部長、下川総務企画部長、田中事務局

以上